

MS Word による論文執筆講座（第 8 回）—参考文献の書き方—

森谷 友昭（編集幹事 東京電機大学）

Guide for Writing Papers Using MS Word (the 7th) – How to write references -

Tomoaki MORIYA (Tokyo Denki University)

本学会では、論文の執筆フォーマットとして Tex と (MS) Word を用意している。Word は Windows 環境では長年に渡り使用されている定番の文書作成ソフトである。しかしながら論文のように与えられたフォーマットに沿った文書を作成したい際に思い通り扱えない場合も多い。本連載では論文執筆の際覚えておくと便利な Word の操作を、毎回ピンポイントで紹介している。ちなみに本連載自体も Word にて執筆されている。

今回は、参考文献の書き方を説明する。書き方というとは通常は参考文献のフォーマットを想像するかと思われるが、ここでは、Word で参考文献を書いた際の不自然な文を修正する方法について述べる。画像電子学会誌における参考文献のフォーマットについては、Web ページにて配布されている見本をご確認いただきたい。

Word で参考文献を記述した際に起こる不自然な例を図 1 に示す。図 1 の参考文献 1) では、URL を記述しているが、URL が行端の前で改行されてしまっている。図 1 の参考文献 2) では、URL のタイトルの文字間隔が不自然に空いてしまっていることが分かる。これらは、いずれも [段落] プロパティから修正できる。まず、図 1 の参考文献 1) は、該当の行を右クリックし [段落] プロパティを開く。[体裁] タブ (図 2) の [英単語の途中で改行する] にチェックを入れることで、URL が行端で改行されるようになる (図 3)。図 1 の参考文献 2) は行が両端揃えになっていることが原因である。左揃え (Ctrl+L) にすればよい。



図 1 修正していない参考文献の例
Fig.1 Examples of uncorrected references

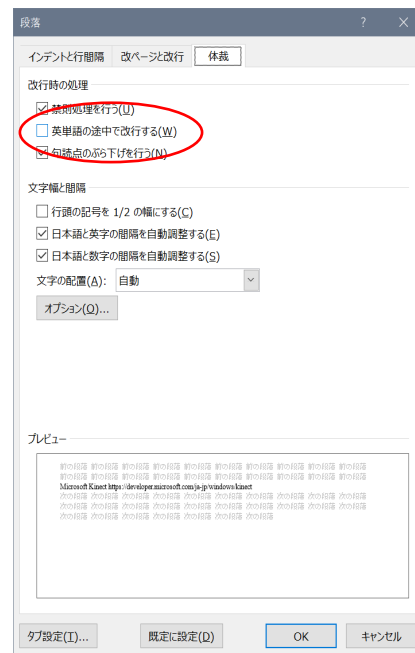


図 2 体裁タブ
Fig.2 Style tab



図 3 修正した参考文献の例
Fig.3 Examples of corrected references



森谷 友昭（正会員）

2007 年 東京電機大学大学院先端科学技術研究科情報通信メディア工学専攻博士課程入学、2010 年 同 修了。同年 同大 未来科学部情報メディア学科 助教、現在に至る。コンピュータグラフィックスの研究に従事。ACM SIGGRAPH, 電子情報通信学会各会員、本学会編集幹事。